

[説明資料] 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDF ファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	北海道教育大学 旭川校	個人・ グループ名	荒木 透	作品名	テレビ台
-----	----------------	--------------	------	-----	------



・製作の動機・目的
授業で、フラッシュ合板を利用した作品の製作を行い、その応用としてフラッシュ合板を使用した作品を製作しようと考えた。木材加工技術の向上を図るため、大きな家具に挑戦しようと思い、自分の家にピッタリのテレビ台を作成することとした。

。利用方法 実際の使用例
自宅のテレビ台として、テレビ・スピーカーが置けるようにした。
DVDプレーヤーの収納
CD・MDコンポの収納
左右の収納スペースを確保することにより、本やCD・DVD等を収納でき、かつ扉を付けることで外観も美しいものになる。



作品・製作過程で工夫した点
松材を部材ごとに適した厚さにし、枠を組み、ラワン合板で圧着させ、フラッシュ合板を作製した。
フラッシュ合板の利点 軽量化・材料費削減
フラッシュ合板の木端面・木口面、外に見える部分にはナラ材を接着し、合板の上部にはつき板を貼ることにより、一枚板のような外観に仕上げた。(写真)
扉部分はナラ材を使用し、枠組みはほぞ組みをし、ルーターで凹凸をつけ、木目を活かし、重厚感あるものに仕上げた。(写真)
扉の取っ手も木工旋盤を使用し1から作製した。(写真)
天板の木口・木端面もルーターで加工し、デザイン性の向上を図った。(写真)
背板にはコードを通す穴を開けた。
底板を地面から少し高くした。(写真)



終わりに
自分の生活に必要なものを自分の技術でつくる。これがものづくりの楽しいところであり、原点のように思う。

